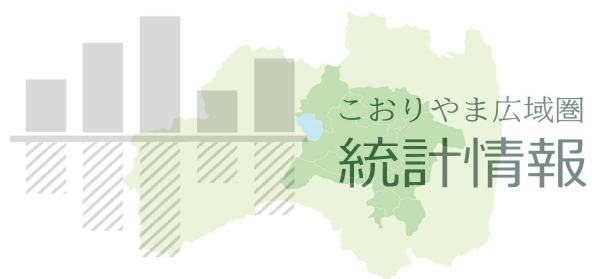


こおりやま広域連携中枢都市圏

構成市町村データブック



2020年1月

目次

1 構成市町村要覧	1
① 郡山市	1
② 須賀川市	2
③ 二本松市	3
④ 田村市	4
⑤ 本宮市	5
⑥ 大玉村	6
⑦ 鏡石町	7
⑧ 天栄村	8
⑨ 猪苗代町	9
⑩ 石川町	10
⑪ 玉川村	11
⑫ 平田村	12
⑬ 浅川町	13
⑭ 古殿町	14
⑮ 三春町	15
⑯ 小野町	16
2 構成市町村統計データ	17
(1) 面積	18
(2) 世帯数	18
(3) 1世帯当たり人員	18
(4) 人口	18
(5) 人口密度(1km ² 当たり)	19
(6) 年少人口(15歳未満)	19
(7) 生産年齢人口(15-64歳)	19
(8) 老年人口(65歳以上)	19
(9) 年少人口割合	19
(10) 生産年齢人口割合	19
(11) 老年人口割合	19
(12) 人口動態	20
(13) 合計特殊出生率(ベイズ推定値)	20
(14) 平均寿命	20
(15) 就業者(第1次産業、第2次産業、第3次産業)	21
(16) 事業所数(民営)	21
(17) 従業者数(民営)	21
(18) 農家	22
(19) 販売農家経営耕地面積	23
(20) 森林面積	23
(21) 工業	24
(22) 商業	24
(23) 市町村民所得	25
(24) 普通会計の決算状況	26
(25) 地方債現在高割合	27
(26) 財政力指数	27
(27) 市町村道の現況	27
(28) 自動車保有台数	27
(29) 消防	28
(30) 交通事故	28
(31) 汚水処理人口普及率	28
(32) ごみ輩出総量	28
(33) 医療	29
(34) 介護保険料65歳以上基準額月額	29
(35) 国民年金の状況	29
(36) 国民健康保険の状況	30
(37) 保育所	30
(38) 児童館	30
(39) 幼稚園(公立・私立)	30
(40) 小学校(公立・私立)	31
(41) 中学校(公立・私立)	31
(42) 高等学校(公立・私立)	32

1 構成市町村要覧

① 郡山市

市章	所在地		所在地標高		
	郡山市朝日一丁目 23 番 7 号		海拔 245.00m		
	花	木	鳥		
				ハナカツミ ヤマザクラ カッコウ	
概要					
（自然条件） 福島県の中央に位置し、面積は 757.20 km²と広域で、西は奥羽山脈と猪苗代湖に接し、東は阿武隈山系、北は安達太良山を望み、市街地東部を阿武隈川が南北に貫流している。年平均気温は約 12℃となっており、比較的穏やかな内陸性気候である。 （産業・経済） 東北有数の商品販売額、製造品出荷額を誇る商工業都市であると同時に、米については生産量、食味ともに全国トップクラスを誇り、「農業・商業・工業」がバランスよく発展している。高速交通体系に恵まれた立地を生かし、農・商・工さらには観光を加えた基幹産業の整備に努めている。 （観光・文化） 猪苗代湖の雄大な自然景観、多くの観光客が訪れる磐梯熱海温泉郷、張子の里高柴デコ屋敷、郡山布引風の高原など観光資源が豊富である。 また、2016 年 4 月には、近代郡山発展の礎となった安積開拓にまつわるストーリー「未来を拓いた『一本の水路』一大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代」が県内初の日本遺産に認定された。 文化面では、音楽活動が特に盛んで、多くの演奏会が市内で開催されているほか、毎年、市内小・中学校、高校の音楽関係部活動が全国大会で輝かしい成果を収めるなど、音楽都市こおりやまを全国に発信している。 （伝統行事・伝統芸能） 如宝寺境内で行われる「七日堂まいり」、奈良時代の伝説を今に伝える「郡山うねめまつり」、山車みこしが街中を練り歩き活気あふれる「安積国造神社の秋まつり」、市指定文化財である中田町「柳橋の歌舞伎」、三穂田町「富岡の唐傘行灯花火」等多数。 （特産品） 郡山産米「あさか舞」、うねめ牛、郡山の鯉、特選郡山梨、阿久津曲がりねぎ、布引高原大根、御前人参、高柴デコ屋敷の張子・三春駒、海老根伝統手漉和紙、奥州郡山いやしの福とんぼ、ブドウ蔓かご、味宿場郡山地酒探訪、蔵元焼酎吟粒、いも焼酎郡山太郎右エ門、たまござけ、OUSEPOIRE JAPONAISE（梨のリキュール）、郡山産ワイン「Vin de Ollage」（ヴァン デ オラージュ）					
将来都市構想・分野別将来構想					
将来都市構想：みんなの想いや願いを結び、未来（あす）へとつながるまち 郡山 ～課題解決先進都市～（2018 年 2 月策定）					
分野別将来構想：			基盤的取組：		
Ⅰ 産業・仕事の未来			・行政経営の効率化		
Ⅱ 交流・観光の未来			・セーフコミュニティ活動の推進		
Ⅲ 学び育む子どもたちの未来			・連携中枢都市圏構想の推進		
Ⅳ 誰もが地域で輝く未来					
Ⅴ 暮らしやすいまちの未来			(震災関連)		
			横断的取組：復興・創生の更なる推進		
沿革					
大 13.9.1 市制施行（編入小原田村）			昭 40.5.1 合体 郡山市、安積町、三穂田村、逢瀬村、片平村、喜久田村、日和田町、富久山町、湖南村、熱海町、田村町		
昭 29.11.1 編入 富田村			昭 40.8.1 編入 西田村、中田村		
昭 30.1.1 境界変更 高瀬村の一部			昭 45.11.1 境界変更 須賀川市		
昭 30.3.31 編入 大槻町			平 9.4.1 中核市移行		
昭 30.11.1 境界変更 三春町大字荒井、蒲倉、三穂田村の一部			平 11.10.1 境界確定変更 猪苗代湖		
昭 30.11.15 編入 岩江村の一部					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

② 須賀川市

市章	所在地				所在地標高		
	須賀川市八幡町 135 番地				海拔 262m		
	花		木		鳥		
		ぼたん		あかまつ		かわせみ	
概要							
（自然条件） 福島県の中央よりやや南に位置し、東西に広がりのある形状をなしており、東は阿武隈山地、西は奥羽山系の山々が連なり、その間の中央部に平坦地が広がる地形となっている。気候は、総体的には一年を通じて比較的温和で関東地方に近い。 （産業・経済） 農業は、米、野菜、果実が中心で、首都圏に隣接する優位性を生かし都市型近郊農業も展開されている。特に「岩瀬きゅうり」で有名な夏秋きゅうりは市の特産品となっている。工業は、電気・鉄鋼・窯業・情報・化学・生産用機械器具製造業が中心で、製造品出荷額の約 50%を占めており、雇用の創出と地域全体の技術向上が図られる企業誘致を積極的に推進している。交通は、県内唯一の空の玄関口「福島空港」を有し、東北縦貫自動車道、国道 4 号、JR 東北本線、水郡線などが通り、高速交通体系の要衝となっている。 （観光・文化） 発祥 250 年を迎える国指定名勝「須賀川の牡丹園」、約 1 万発の花火が夏の夜空を彩る「釈迦堂川花火大会」、日本三大火祭りの一つ「松明あかし」など、四季を通じて華やかな彩りに包まれており、「牡丹焚火」と「松明あかし」は俳句歳時記の季語に収載されている。また、ウルトラマンの生みの親である円谷英二監督と、東京オリンピックマラソン競技銅メダリスト円谷幸吉選手の「二人の円谷」を育んだまちでもある。さらに、図書館、公民館機能、円谷英二ミュージアムなど多くの機能を有する複合施設、市民交流センター「tette」が開館し、新たな魅力が加わった。 （伝統行事・伝統芸能） きうり天王祭（7 月 14 日）、長沼まつり（9 月第 2 土曜日）、須賀川秋祭り（9 月第 2 土・日曜日）、いわせ悠久まつり（10 月下旬）、松明あかし（毎年 11 月第 2 土曜日）、牡丹焚火（11 月第 3 土曜日）等、多数。 （特産品） なし、りんご、もも、いちご、乾麺、岩瀬きゅうり、米、トマト、ナス、秋冬ニラ、なたね油、そば、ユキヤナギ、西洋ウメモドキ							
将来都市像・政策別基本方針							
将来都市像：選ばれるまちへ ともに歩む自治都市 すかがわ（2017 年 12 月策定）							
政策別基本方針：							
1 いきいきと人が輝くまちづくり							
2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり							
3 安全に安心して暮らせるまちづくり							
4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり							
5 活力とにぎわいあるまちづくり							
沿革							
昭 29.3.31 合体（市制施行）須賀川町、浜田村、西袋村、稲田村、小塩江村							
昭 30.3.10 編入 仁井田村							
昭 42.2.1 編入 大東村							
平 17.4.1 編入 長沼町、岩瀬村							

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

③ 二本松市

市章	所在地				所在地標高		
	二本松市金色 403 番地 1				海拔 226.00m		
	花		木		鳥		
		きく		さくら		うぐいす	
概要							
（自然条件） 福島県の中央北部に位置し、西に「智恵子抄」で詠われた安達太良山を擁し、中央の平坦部を阿武隈川が北流、東部には阿武隈山系が連なる風光明媚な自然環境に恵まれ、中心部の平均気温は 12℃前後と比較的温暖で過ごしやすく、年間降水量も少ない。							
（産業・経済） 農業は、米を基幹作物として、野菜、畜産、果樹等を組み合わせた複合経営を行っている。商工業は、木工家具、菓子酒造等の地場産業のほか、近年郊外型大型店舗の進出が目立つ。また、電気、金属、機械、化学などの企業の立地が進み、現在も企業誘致を推進している。							
（観光・文化） 名峰「安達太良山」、富士山に見える北限の山「日山」「羽山」をはじめ、天然記念物の「杉沢の大杉」や「木幡の大スギ」、合戦場のしだれ桜、霞ヶ城公園、智恵子の生家、稚児舞台などの名勝地、岳温泉や塩沢温泉、名目津温泉、安達ヶ原ふるさと村、阿武隈川漕艇場等がある。							
（伝統行事・伝統芸能） 360 年の歴史を持つ「二本松の提灯祭り（10 月第 1 土・日・月曜日）」、「二本松の菊人形（10 月中旬～11 月中旬）」、「万人子守地蔵例大祭（5 月 3～5 日）」、「小浜紋付祭り（体育の日までの 3 日間）」、「針道のあばれ山車（体育の日の前日）」、「木幡の幡祭り（12 月第 1 日曜日）」、「東和ロードレース大会（7 月第 1 日曜日）」							
（特産品） きゅうり、トマト、にら、つるむらさき、スプレー菊、長ネギ、椎茸、なめこ、りんご、桑葉加工品、じゅうねん味噌、凍み餅、清酒、菓子、家具、仏壇・仏具、二本松万古焼、上川崎和紙、ワイン							
将来像・基本方針							
将来像：自然の恵み・先人の知恵・いまに息づく文化の香り・「いま拓く 豊かな未来 二本松」							
基本目標： 1 子どもや若者の未来を創るまち 2 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち 3 いつまでも元気で生きがいのもてるまち 4 助け合い、支え合い、安全に安心して暮らせるまち							
沿革							
昭 30. 1. 1 二本松町、塩沢村、岳下村、杉田村、石井村、大平村が合併により二本松町となる 昭 30. 1. 1 油井村、渋川村、上川崎村が合併により安達村となる 昭 30. 1. 1 小浜町、新殿村、旭村が合併により岩代町となる 昭 30. 1. 1 太田村、針道村、木幡村、戸沢村が合併により東和村となる 昭 33. 10. 1 二本松町が市制施行 昭 35. 2. 1 安達村が町制施行 昭 35. 4. 1 東和村が町制施行 平 17. 12. 1 二本松市、安達町、岩代町、東和町が合併により二本松市となる							

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

④ 田村市

市章	所在地		所在地標高		
	田村市船引町船引字畑添 76 番地 2		海拔 408.00m		
	花		木		
		つつじ		なら	
概要					
（自然条件） 阿武隈高原の中央に位置し、緑豊かな自然に恵まれた面積 458.33 km²の地域を有する。本地域は阿武隈山系が南北に走り、大小の山々によって兵陸起伏が縦横に連続する地形となっている。これらの山岳を源に大滝根川や高瀬川などの多くの河川が地域を流下している。気候は内陸山間型の特徴がある。 （産業・経済） 第一次産業は、水稻、畜産、葉たばこ、そ菜等の複合経営が行われている。第二次産業は輸送用機械器具製造業、第三次産業は卸業及び小売業の占める割合が高くなっている。 （観光・文化） 国内有数の鍾乳洞である「あぶくま洞」「入水鍾乳洞」を始めとし、国の重要文化財や国指定、県指定の文化財が各地区に点在している。また、高柴山の約3万株のツツジなど、たくさんの自然に恵まれ、この自然を生かした施設も市内各地に整備されている。 （伝統行事・伝統芸能） だるま市、安倍文殊堂例大祭、灯籠流しと花火大会、各地区盆祭り、各地区文化祭、各神社例大祭、各地区三匹獅子舞、お人形様衣替え （特産品） あぶくまの天然水、ハム工房都路のハム・ウインナー・ベーコン（ドイツ農業協会食品競技会にて連続金賞受賞）、たきねワイン「北醇」、エゴマ油、鬼みそ、イワナ、ピーマン、トマト、地酒等					
将来像・基本方針					
将来像：あぶくまの人・郷・夢を育むまち はつらつ高原都市 田村市（2015 年 2 月策定）					
基本方針：					
1 地域を活かす産業の振興 2 健康づくりと福祉の充実 3 未来を担うひとづくり 4 快適な生活環境の整備 5 市民参加の郷づくり・まちづくり 6 行財政改革の推進					
沿革					
明 22.4.1 岩井沢村・古道村が合併により都路村となる。 昭 30.2.1 常葉町・山根村が合併により常葉町となる。 昭 30.4.1 船引町・芦沢村・美山村・移村・瀬川村・文珠村・七郷村が合併により船引町となる。 昭 32.3.31 境界変更三春町の一部が船引町となる。 平 17.3.1 滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町が合併により新市となる。					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑤ 本宮市

市章	所在地		所在地標高		
	本宮市本宮字万世 212 番地		海拔 214.10m		
	花	木	鳥		
	 ぼたん	 まゆみ	 うぐいす		
概要					
（自然条件） 本宮市は、福島県の中央部に位置し、市のほぼ中央部には東北地方を代表する名川・阿武隈川が北流し、東部には阿武隈山系の岩角山、高松山、嶽山などの山並みや丘陵地・農地が広がり、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有し、水と緑の豊かな自然に恵まれている。総面積は 88.02 km²である。					
（産業・経済） 阿武隈川流域の肥沃な土地条件や高速交通網が結節する交通の要衝としての優れた立地条件等を最大限に活用し、農業・商業・工業の振興を柱に、農産物の地産地消や企業誘致による雇用の場の創出等活力ある産業のまちづくりを推進している。					
（観光・文化） 国の登録文化財「蛇の鼻御殿」がある「花と歴史の郷蛇の鼻」をはじめ、「岩角山」や「高松山」を中心とした観光コースは人気が高く、市内外を問わず多くの人々が訪れる。また、市内には、みずいろ公園やプリンス・ウィリアムズ・パーク、英国庭園、白沢ふれあい文化ホールがあり、多くの人たちでにぎわっている。					
（伝統行事・伝統芸能） 本宮市夏まつり（8月15日、16日）、もとみや秋祭り（10月第4土曜日を含む金、土、日の3日間）、しらさわ秋祭り（11月第2日曜日）、岩角山大梵天祭（1月3日）、ハッ田内七福神舞（1月7日）、高松山観音寺初寅祭（旧暦の初寅の日の夜）、荒井の太々神楽（大晦日から元旦暁）					
（特産品） 米、チェリートマト、キュウリ、本宮烏骨鶏、とろろ芋、大核無柿（おおたねなしかき）、りんご、しいたけ、ビール、手作り糀みそ、本格長芋焼酎「さわうらら」、しらさわ宝漬、ぎんなん、清酒、アスパラガス					
将来像・基本目標					
将来像：「笑顔」あふれる「人」と「地域」が輝くまち もとみや（2018年12月策定）					
基本目標：					
1 人を育み 地域を創る 未来へ夢ふくらむまち					
2 いつまでも健康・豊かで 活力と賑わいにあふれるまち					
3 自然と人の暮らしが調和する 安全・安心で快適なまち					
沿革					
平 19.1.1 本宮町、白沢村が合併により新市となる。					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑥ 大玉村

村章	所在地				所在地標高		
	安達郡大玉村玉井字星内 70 番地				海拔 約 250m		
	花		木		鳥		
		桜		松		きじ	
概要							
（自然条件） 本村は、福島県中通り地方のほぼ中央にあり、郡山市、二本松市、本宮市と接し、県内主要都市である福島市と郡山市のほぼ中間に位置する。年間平均気温 12℃、年間降雨量 1,100mm と自然条件に恵まれている。 （産業・経済） 本村は農業が主体であり、約 1,300ha の水田が整備され、基幹作物の米を中心に、畜産、そ菜等との複合経営を行っている。また、公害のない、生きがいのある職場となるような企業の誘致を図り、農工一体の活力ある村づくりをめざしている。 （観光・文化） 安達太良山麓に県民の森があり、年間延べ 10 万人の観光客が訪れ県民いこいの場となっている。県民の森に接して村営のアウトホームおおたまがあり、この施設を中心に多くのレクリエーション施設もある。また、貴重な遺産を保存展示するふるさとホールがある。 （伝統行事・伝統芸能） 遠藤ヶ滝不動尊祭礼が毎年 5 月 4 日から 6 日、9 月中旬の 2 回行われている。また、本揃田植踊り、神原田神社十二神楽の伝統芸能がある。 （特産品） 米、酵母牛、そば、日本酒、焼酎、きゅうり、りんご							
将来像・基本目標							
将来像：小さくても輝く“大いなる田舎”大玉村（2016 年 3 月策定）							
基本目標：							
1 力強い産業と広がる交流							
2 みんなで支える安心生活							
3 夢を育てる教育・子育て							
沿革							
昭 30.3.31 合併 大山村 玉井村							

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑦ 鏡石町

町章	所在地		所在地標高		
	岩瀬郡鏡石町不時沼 345 番地		海拔 270.00m		
	花		木	鳥	
	 あやめ	 しだれ桜	—		
概要					
（自然条件） 福島県の中通り南部に位置し、西に釈迦堂川、東に阿武隈川が流れ、標高 280m 台の平坦な台地にある。年間平均気温は 12℃前後で比較的温暖であり、降水量は年間約 1,170mm で寡降水量地域に属する。 （産業・経済） 農業は、米を中心に果樹やそ菜等の複合経営であり、農業所得は県下の上位にある。工業は町内 5 箇所の工業団地を中心に、国道 4 号線、ＪＲ東北本線、東北自動車道鏡石スマートインターチェンジ等の高い交通環境の中で定着化が進み、農商工一体の町づくりを進めている。 （観光・文化） 唱歌「牧場の朝」のモデルとなった岩瀬牧場、桜や町花“あやめ”が美しくふくしま国体サッカー競技の会場にもなった鳥見山公園のほか、2012 年から農業と観光が連携して展開している「田んぼアート」、町内 3 ヲ所にはアルカリ性温泉がある。また、鎌倉の故事を今に伝える史跡「鏡沼」、福島県重要文化財の西光寺の「杉戸絵」等多くの文化財がある。 （伝統行事・伝統芸能） 200 年の歴史をもつ「仁井田祭礼花火大会」や昭和 51 年に復活した「熊野神社太々神楽」が行われている。岩瀬牧場で交流の深いオランダにちなみ、鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りが毎年開催されている。 （特産品） 特別栽培米「牧場のしずく」、特別純米酒「鏡の雫」、全国的にも有名な「岩瀬きゅうり」、リンゴやモモを代表とした果物も豊富で、近年では「いちご」が評判を呼んでいる。					
将来像・基本目標					
将来像：かわる、かがやく、“牧場の朝” のまち かがみいし（2017 年 3 月策定）					
基本目標：					
Ⅰ 町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！					
Ⅱ 心豊かな人を育て、地域文化を大切にする鏡石をつくります！					
Ⅲ 地域で支えあう、人にやさしい鏡石をつくります！					
Ⅳ 新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります！					
Ⅴ 快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！					
沿革					
昭 37.8.1 町制施行					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑧ 天栄村

村章	所在地		所在地標高		
	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑 78 番地		海拔 303m		
	花	木	鳥		
	 りんどう	 松 えんじゅ	 うぐいす	羽鳥湖	
概要					
（自然条件） 四季折々にさまざまな彩りを見せる天栄村の自然。村のほぼ中央部にある分水嶺「鳳坂峠」を境に、村の気候は東西に大きく二分される。西部は、日本海式気候で冬期間は積雪が多く、那須連峰に囲まれた地域である。一方、東部は、太平洋式気候で降雪が少なく、釈迦堂川、竜田川沿いに耕地が拓けている。 （産業・経済） 農業は、水稻を中心に蔬菜や畜産の複合型農業である。特に夏秋きゅうりとニラの組み合わせで実績を上げている。 工業は、現在 16 社（飯豊農工団地 3 社、ハイテク大山工業団地 11 社、その他 2 社）が操業しており、雇用と地域産業の振興に寄与している。 （観光・文化） 羽鳥湖高原には、スキー場、ゴルフ場、キャンプ場、英国村があり、四季を通じてレジャーが楽しめる。また、国民保養温泉地に指定されている二岐、岩瀬湯本、天栄温泉、各種ペンションなど宿泊施設も充実している。 （伝統行事・伝統芸能） 5 月下旬 二岐山開き 7 月第 3 日曜日 湯本満願寺の馬頭観世音祭 9 月第 1 日曜日 羽鳥湖畔マラソン大会 （特産品） ヤーコン、長ねぎ、天栄米、りんご、しいたけ、味噌、しょう油、清酒、きゅうりの漬物、ニラ、きゅうり、ウド、フキノトウ、りんごジュース					
将来像・基本目標					
将来像： 自然と共に 人・未来を創造する村 てんえい（2017 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 みんなで安全・安心な環境づくり					
2 みんなで支え合い築く健康づくり					
3 みんなで地域を活かした産業づくり					
4 みんなで心豊かな人づくり					
5 みんなで未来につなぐ村づくり					
沿革					
昭 30. 3. 31 合体 湯本村、牧本村、大里村、広戸村					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑨ 猪苗代町

町章	所在地		所在地標高		
	耶麻郡猪苗代町字城南 100 番地		海拔 521.60m		
	花		木		
	 サギソウ	 ナナカマド		ハクチョウ	
概要					
（自然条件） 本町は、福島県のほぼ中央に位置する猪苗代湖の北岸に面し、東西北の三方を秀峰会津磐梯山をはじめとする山々に囲まれ、山と湖の織りなす雄大で美しい自然に包まれている。気候は日本海式気候で、内陸型の積雪寒冷地帯に属している。 （産業・経済） 米の生産調整対策に伴う転作作物としてのそばを地域の特産物とし、農業の振興に努めている。また中心市街地活性化のため、魅力ある商店街づくりを推進している。 （観光・文化） 磐梯山や猪苗代湖、世界に知られる医学者野口英世博士の生家などが保存・展示されている野口英世記念館など、名所・旧跡を多数有し、四季を通じてさまざまな魅力を堪能できる県内有数のオールシーズン型の観光リゾート地である。 （伝統行事・伝統芸能） 初市（十三日市 1 月 13 日）、小平瀧天満宮初天神（1 月 25 日）、西久保彼岸獅子（3 月 14 日～24 日）、磐梯山山開き（5 月）、磐梯まつり（7 月下旬） （特産品） そば、ブランド米「いなわしろ天のつぶ」、磐梯トマト、アスパラ、あげまんじゅう、天ぷらまんじゅう、笹だんご、日本酒、地ビール、あいづ醸造ワイン、山菜加工品、しょうが加工品、中ノ沢こけし					
基本理念・基本目標					
基本理念：ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代（2017 年 3 月策定）					
基本目標： 1 安全・安心を肌で感じる。 2 豊かな自然を活かしきる。 3 いつまでも猪苗代に暮らす。 4 人をつくる。そして、まちをつくる。 5 協働により、みらいをひらく。					
沿革					
昭 30.3.1 合体 猪苗代町 千里村 吾妻村 月輪村 翁島村 昭 30.7.20 編入 長瀬村					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑩ 石川町

町章	所在地				所在地標高		
	石川郡石川町字長久保 185 番地の 4				海拔 320.00m		
	花		木		鳥		
		桜		杉		うぐいす	
概要							
（自然条件） 本町は、県の南部、阿武隈高地の西側に位置し、阿武隈川流域の平坦地と阿武隈高地に連なる山間地から形成され、中央を流れる今出川と北須川に沿って開けている。気候は比較的温暖で、四季折々の景観を見せている。 （産業・経済） 近年、第二次産業から第三次産業への就業者数などの比率が高まっている。農業は米を中心に畜産、野菜、果樹などの複合経営で、今後、首都圏への近接性を生かした園芸農業にも積極的に取り組んでいくことにしている。また、毎年 10 月に町内産業の P R と振興のために、産業交流祭を開催している。 （観光・文化） 母畑・猫啼・片倉・塩ノ沢の温泉郷、母畑湖畔のレークサイドセンター、平安時代の女流歌人“和泉式部”生誕地、県指定史跡“大壇、悪戸”等の古墳群、自由民権運動史跡「鈴木重謙屋敷」などのほか、今出川・北須川沿いの桜並木は見ごたえがあり、毎年 4 月に開催される桜まつりには多くの観光客が訪れる。 （伝統行事・伝統芸能） 石都々古和気神社祭礼（9 月第三土・日曜）、中田のささら舞（9 月初旬）、八槻市（11 月 23 日） （特産品） 地酒（純米酒きらの初恋）、リンゴ、梨、もも、こんにゃく、シイタケ、いしかわうどん、納豆、りんごジュース、いしかわ牛							
将来像・基本目標							
将来像： 共に創る 幸せ実現のまち（2019 年 3 月策定）							
基本目標：							
1 健康で元気に暮らせるまち 2 活力ある産業を形成するまち 3 豊かな心・町民文化を育むまち 4 安全で住みよいまち 5 都市機能が充実したまち 6 共に創るまち							
沿革							
昭 30.3.31 合体 石川町、沢田村、中谷村、母畑村、野木沢村、山橋村							

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑪ 玉川村

村章	所在地				所在地標高		
	石川郡玉川村大字小高字中畷 9 番地				海拔 262.00m		
	花		木		鳥		
		山桜		赤杉		山鳩	
概要							
（自然条件） 福島県の南部に位置し、阿武隈山地の西斜面の丘陵地と阿武隈川東岸に開けた平坦地に大別され、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた住みよい村である。福島空港の所在地である当村は、交通の利便性に優れた地域として発展しつつある。 （産業・経済） 農業は、米、野菜を中心に畜産等の複合経営が行われている。近年は、小菊、リンドウなどの花き栽培を推進しており、特産品のさるなし、トマトなどとともに、生産物直売所「こぶしの里」や福島空港内の「空の駅たまかわ」で販売活動をしている。また、玉川工業団地への立地企業をはじめとする村内企業は、空港や道路環境の整備による交通の利便性を生かし、雇用面からも地域活性化が図られている。さらに、あぶくま高原道路などの高速交通ネットワークが整備され、ますますの発展が期待される。 （観光・文化） 芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地、乙字ヶ滝は「五月雨の滝降りうつむ水かさ哉」の句碑と共に桜の名所でも知られている。また、福島空港公園を訪れる家族連れや観光客も年々多くなっている。さらに、「道の駅たまかわ」（生産物直売所こぶしの里）及び平成 20 年 2 月に福島空港内にオープンした「空の駅たまかわ」では、空港利用者に限らず地元特産品を目当てに訪れる客も増加している。このほか、国重要文化財指定の「石造五輪塔」、「東福寺舍利石塔」や県重要文化財指定の「宮ノ前古墳」など文化財も豊富で、古墳や遺跡も数多い。 （伝統行事・伝統芸能） 県無形重要文化財指定・福島遺産百選認定の「南須釜念仏踊り」は、毎年 4 月 3 日と 8 月 14 日に艶やかな衣装を身につけた少女たちによって踊られる。また、8 月 13 日に「玉川夏まつり・花火大会」、秋には「たまかわ産業フェスティバル」が開催される。 （特産品） 米、トマト、きゅうり、いんげん、さやえんどう、なす、大豆、さるなし、いちじく、ぎんなん、ブルーベリー、小菊、リンドウ							
将来像・基本目標							
将来像： 未来が輝く村づくり “元気な” たまかわ（2016 年 3 月策定） 基本目標： 1 皆で支えあう福祉のむらづくり 2 環境にやさしい安全・便利なむらづくり 3 活力のあるむらづくり 4 人を育むむらづくり 5 交流と協働の村づくり							
沿革							
昭 30.3.31 合体 泉村、須釜村							

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑫ 平田村

村章	所在地				所在地標高		
	石川郡平田村大字永田字切田 116 番地				海拔 490.40m		
	花		木		鳥		
		たんぽぽ		あかまつ		やまばと	
概要							
（自然条件） 本村は福島県南東部、阿武隈山系にあり、美しい自然豊かな地域。標高が平均 500mと高いため桜の開花が少し遅い。夏は高原特有の涼しさが心地よい。蓬田岳山麓の「ジュピアランドひらた」には約 25 万株の芝桜が植栽されており、4 月から 5 月の開花時期には多くの観光客で賑わう。 （産業・経済） 本村は、農業を基幹産業とし畜産業が盛んである。中山間地域の特性を生かし、稲作、野菜、花卉など多くの農産物が生産されている。工業では、あぶくま高原道路の全線開通による高速交通網の整備が図られ、積極的に企業誘致を進めている。 （観光・文化） 石川郡内の最高峰標高 952.2mの蓬田岳山頂には菅布祢神社が祀られ、登山者も多い。山麓には自然を活用した「ジュピアランドひらた」があり、春には「芝桜まつり」が行われる。また、園内には、展示されたアジサイの最多品種数でギネス世界記録に公式認定（平成 30 年 7 月 14 日）された「世界のあじさい園」と「ゆり園」もある。国道 49 号沿いにある道の駅ひらたでは、地域の特産品が販売されている。母畑湖畔に近い山鶏滝にも観光客が絶え間なく訪れている。 （伝統行事・伝統芸能） 駒形ジャンガラ念仏踊りは 8 月 13 日に駒形地区で行われているもので、駒形念仏として広く知られている。また、正月の酉小屋燃やしが地域行事として定着している。 （特産品） 自然薯、地酒、乾麺、アスパラガス、えごま							
将来像・基本目標							
将来像：自然に包まれ健康でおだやかな暮らしのできる高原のむら（2016 年 3 月策定）							
基本目標：							
1 心やすらぐ あんしん快適の 平田村							
2 心おどる にぎわい交流の 平田村							
3 心つながる ふれあい協働の 平田村							
沿革							
昭 30.3.31 合併 蓬田村・小平村							

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑬ 浅川町

町章	所在地		所在地標高		
	石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地 112 番地の 15		海拔 306.50m		
	花	木	鳥		
	 サギソウ	 あかまつ	 オナガ		
概要					
(自然条件) 福島県中通り南部に位置し、東部に阿武隈山麓に連なる丘陵が南北に続く。町を西北に縦断するように阿武隈川の支流が走り、西部はおおむね平坦で農地が集団化されている。気象条件は比較的恵まれているものの、冬季の寒さは厳しく春先の晩霜が農作物に与える影響は大きい。					
(産業・経済) 近年、第1次産業就業者は基幹作物の米を中心に畜産、野菜等の複合経営を行っている。第2次産業は精密機器、弱電気、信号機械が中心となっている。第2次、第3次産業への就業人口が増加し、地場産業の発掘、既存企業の育成、定住促進住宅の購入費等、町民はもとより他の地域からの移住者の生活の安定を図る。					
(観光・文化) 病理学者吉田富三博士を顕彰する「吉田富三記念館」、ついじの森にたどる石仏「五智如来」、「即身弘智法印有貞」、遠く那須連峰を一望でき、夜景が素晴らしい城山がある。					
(伝統行事・伝統芸能) 300 有余年の歴史と伝統のある「浅川の花火」(毎年8月16日)、慶応以前から始められたと言われる「カラスもち」(毎年4月3日)、無病息災と豊作を祈願する「風袋(カザブクロ)」(毎年二百十日の前日)がある。近年、除夜の花火打上げで「花火の里」のイメージアップを図っている。					
(特産品) 米、肉用牛、野菜、乾麺、地酒、じゅうねん油、魔除花火など					
将来像・政策目標					
将来像： 笑顔あふれる 住みよいまち 浅川 (2016 年3月策定)					
政策目標：					
1 健やかで安心・快適な暮らしづくり					
2 未来に輝く人文化づくり					
3 活力と交流に満ちた産業づくり					
4 持続的発展を支える基盤づくり					
沿革					
昭 10.8.1 町制施行					
昭 29.10.1 合併 浅川町、山白石村					
昭 30.8.20 境界変更 東村大字太田輪・小貫					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑭ 古殿町

町章	所在地		所在地標高		
	石川郡古殿町大字松川字新桑原 31 番地		海拔 301.00m		
	花	木	鳥		
	 ヤマユリ	 スギ	 キジ		
概要					
（自然条件） 福島県の南、石川郡の南東、阿武隈山系の西斜面に位置している。標高は 300～500m で起伏の多い丘陵が波状的に連なり、地質は花崗岩を母体として形成され、中生層及び古生層の竹貫式結晶片岩からなる。山地は杉の適地である。					
（産業・経済） 第一次産業における農業は米、山菜栽培、畜産が中心である。林業も盛んであり間伐、林道事業等を積極的に推進している。					
（観光・文化） 三株山、芝山はキャンプ場も整備され、多くのハイカーでにぎわう。春は越代のサクラやふるどの桜街道の花見、鎌倉岳遊歩道の散策、秋の八幡神社祭礼の「流鏝馬」、また県重要文化財の西光寺阿弥陀堂、木造地藏菩薩座像などがある。					
（伝統行事・伝統芸能） 800 年余の伝統をもち、荘厳にして勇壮な鎌倉絵巻「流鏝馬（毎年 10 月第 2 日曜日とその前日）」、「馬場平のジャンガラ念仏（7 月、8 月 13～14 日、8 月 23 日）」、松川八ヶ久保地区及び論田地区の「獅子舞（毎年 10 月第 1 日曜日）」などがある。					
（特産品） チェリートマト、山菜					
将来像・基本構想					
将来像： 緑と人が響きあうぬくもりのあるまち ふるどの（2010 年 3 月策定）					
基本構想：					
Ⅰ 豊かな心を持つ人づくりプロジェクト					
Ⅱ 健やかで生きがいのあるくらしづくりプロジェクト					
Ⅲ 安全で安心なまちづくりプロジェクト					
Ⅳ 自然の恵みを生かした産業づくりプロジェクト					
Ⅴ 新たな地方を担う体制づくりプロジェクト					
沿革					
昭 30. 3. 31 合体 竹貫村、宮本村					
昭 32. 4. 1 町制施行					
平 6. 4. 11 郡界変更 東白川郡から石川郡					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑮ 三春町

町章	所在地				所在地標高	滝桜
	田村郡三春町字大町 1 番地の 2				海拔 314.3m	
	花		木		鳥	
		松波		しだれ桜		うぐいす
概要						
(自然条件) 県のほぼ中央部、阿武隈山系の西裾に位置し、郡山市の北東に隣接している。町のほとんどが標高 300～500m の丘陵地で、ゆるやかな山並みが続いている。気候は内陸性で、冬の降雪は少なく、夏もあまり暑くないため、過ごしやすい。 (産業・経済) 田村西部工業団地が磐越自動車道船引三春 IC に隣接しており、交通アクセスに優れた生産基地を提供。市街地においては、商業基盤等の充実や蔵を活用した賑わい創出等魅力的な商店街の形成が図られている。また、豊かな田園生活を追及した新たな農業への取り組みが行われている。 (観光・文化) 樹齢千年以上といわれる国指定天然記念物三春滝桜、歴史民俗資料館、三春郷土人形館、旧城下町のたたずまいや神社仏閣、自由民権運動の発祥の地として歴史や観光資源が多い。また、三春ダムやその周辺の施設なども年間を通して訪れる人も多い。 (伝統行事・伝統芸能) 元日に行われる西方水かけ祭り、1 月第 3 日曜日の三春だるま市、各神社の祭礼に奉納される長獅子舞・三匹獅子舞・太々神楽、8 月 15・16 日に行われる三春盆踊りなどが今に伝えられる。また、これらの保存会の活動も盛んである。 (特産品) 三春駒、三春人形（張子）、三角油あげ、米、葉たばこ、しいたけ、加工用トマト、ピーマン、三春素麺、地酒、ブルーベリー						
将来像・基本目標						
将来像： 豊かな自然・歴史・文化に育まれ未来に輝く元気なまち 三春（2015 年 4 月策定） ～いつまでも住みよい自慢し合えるまちづくり～ 基本目標： 1 誰もが安全安心に暮らせるまちづくり 2 住みよい美しい環境で暮らせるまちづくり 3 豊かな心と文化を育むまちづくり 4 誰もが健やかに暮らせるまちづくり 5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり 6 協働と町民参画による自立したまちづくり						
沿革						
昭 30. 4. 1 合体 三春町、中郷村、沢石村、要田村、御木沢村、中妻村 昭 30. 11. 1 境界変更 郡山市大字荒井 蒲倉 昭 30. 11. 15 編入 岩江村の一部 昭 31. 10. 10 境界変更 郡山市大字下舞木の一部 昭 32. 3. 31 境界変更 船引町の一部 昭 35. 4. 1 境界変更 郡山市大字上舞木及び下舞木の一部 昭 38. 9. 1 境界変更 船引町の一部						

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑩ 小野町

町章	所在地		所在地標高		
	田村郡小野町大字小野新町字館廻 92 番地		海拔 432.00m		
	花	木	鳥		
	 つつじ	 杉		かつこう	
概要					
(自然条件) 阿武隈山系の南部に位置し、3市1村と境を接する。地形は、周囲を高柴山、矢大臣山、日影山等の900m前後の山々に囲まれた丘陵地帯で、町中央を右支夏井川が流れている。年間の気温は平均 10℃程と低く冷涼、降雨量は積算で 1,200mm と少ない。 (産業・経済) 地域の特性や伝統を生かしながら、農商工の連携・発展を推進するとともに、新たな産業が育ちやすい環境を整備し、活気と活力のある自立性の高い、個性豊かで快適な魅力ある町づくりを進める。 (観光・文化) 県立自然公園の東堂山満福寺は 1,200 年前、坂上田村麻呂が徳一大師を招いて開山したと伝えられており、500 体近くの羅漢像が老杉に囲まれ静かに佇んでいる。 また、4 月は夏井川沿いの約 1,000 本の桜が一斉に咲き誇り、5 月は高柴山の約 3 万株のヤマツツジが真赤に色づく景色は壮観。 (伝統行事・伝統芸能) 東堂山例大祭（5 月 3 日）、夏井諏訪神社湯花祭（7 月海の日前日の日曜）、篁踊り（8 月）、じゃんがら念仏踊り（8 月）、菅布彌神社祭礼（9 月）、塩釜神社祭礼（9 月末の土曜・日曜） (特産品) 米、黒にんにく、インゲン、ピーマン、トマト、おのっこ一笑漬（漬物）、くんせい卵、小町めん、おのまち小町アイスバーガー、砂糖パン					
将来像・基本目標					
将来像： 人も自然も元気 みんなの笑顔が かがやくまち（2018 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 子育てや教育に喜びを感じ、そして生きがいを見出すために					
2 便利で住みよいきれいな町を目指して					
3 将来への不安のない健康的な暮らしをすべての町民へ					
4 働く喜びをみんなで感じるために					
沿革					
昭 30.2.1 合併 小野新町、飯豊村、夏井村					

出典：福島県市町村要覧2018、各市町村HP

2 構成市町村統計データ

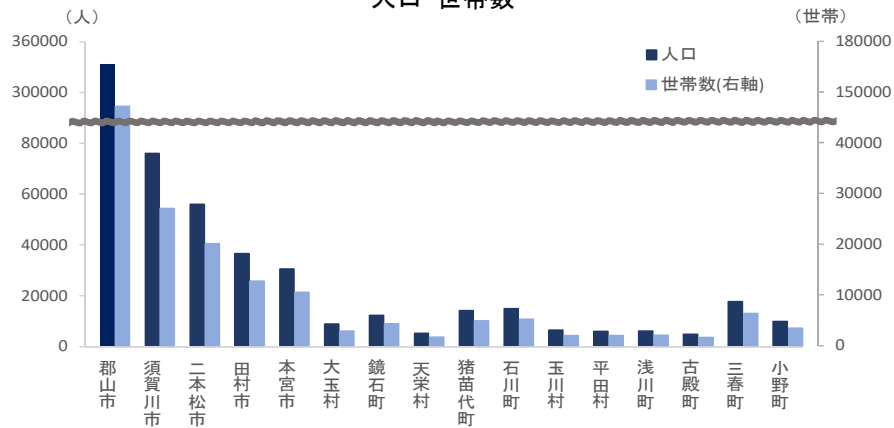
項目番号	資料出所
(1)	国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
(2)～(11)	福島県統計課「福島県の推計人口」、総務省統計局「国勢調査報告」
(12)	福島県統計課「福島県の推計人口」、厚生労働省「人口動態統計」
(13)	厚生労働省「人口動態調査保健所・市区町村別統計」
(14)	厚生労働省「市区町村別生命表」
(15)	総務省統計局「国勢調査報告」
(16)～(17)	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査結果」
(18)～(19)	農林水産省統計部「農林業センサス報告書」
(20)	福島県森林計画課「福島県森林・林業統計書」
(21)	福島県統計課「経済センサスー活動調査(製造業)結果報告書」
(22)	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査結果」
(23)	福島県統計課「福島県市町村民経済計算報告書」
(24)～(26)	福島県市町村財政課「市町村財政年報」
(27)	福島県道路管理課
(28)	東北運輸局「福島県市町村別保有車両数」
(29)	福島県消防保安課「消防防災年報」
(30)	福島県生活交通課「交通白書」
(31)	福島県下水道課「汚水処理人口普及率」
(32)	福島県一般廃棄物課
(33)	厚生労働省「医療施設調査」、「医師・歯科医師・薬剤師調査」
(34)	厚生労働省「第7期計画期間における介護保険料の第1号保険料について」
(35)	厚生労働省「(年金・日本年金機構関係)事業月報」
(36)	福島県国民健康保険課「国民健康保険事業状況」
(37)～(38)	厚生労働省「社会福祉施設等調査」
(39)～(42)	福島県統計課「学校基本調査報告書」

※福島県企画調整部統計課編「令和元年版 福島県勢要覧」を再編・加工

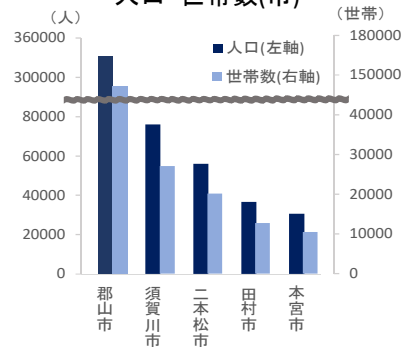
市 町 村 名	(1) 面積 km ²	(2)世帯数		(3) 1世帯当 たり人員 人	(4)人 口					
		平成29年	平成30年		平成29年 総数 人	平成30年				対前年 増減率 %
		総数 世帯	総数 世帯			総数 人	男 人	女 人	性比 女=100	
調 査 期 日	平30.10.1	平29.10.1	平30.10.1	平30.10.1	平29.10.1	平30.10.1				
県 計	13,783.90	746,014	748,715	2.5	1,881,382	1,862,705	921,891	940,814	98.0	△ 1.0
市 計	*6,031.54	630,152	632,539	2.4	1,557,736	1,545,260	764,250	781,010	97.9	△ 0.8
町 村 計	*7,752.36	115,862	116,176	2.7	323,646	317,445	157,641	159,804	98.6	△ 1.9
圏 域 計	3,312.97	247,368	248,627	2.6	644,763	639,799	317,319	322,480	98.4	△ 0.8
郡 山 市	757.20	141,030	141,606	2.4	334,636	332,863	165,688	167,175	99.1	△ 0.5
須 賀 川 市	279.43	26,832	27,089	2.8	76,626	76,120	37,334	38,786	96.3	△ 0.7
二 本 松 市	344.42	19,970	20,132	2.8	56,641	56,135	27,760	28,375	97.8	△ 0.9
田 村 市	458.33	12,733	12,729	2.9	37,255	36,716	18,420	18,296	100.7	△ 1.4
本 宮 市	88.02	10,368	10,520	2.9	30,751	30,652	15,129	15,523	97.5	△ 0.3
大 玉 村	79.44	2,800	2,882	3.1	8,822	8,925	4,422	4,503	98.2	1.2
鏡 石 町	31.30	4,316	4,356	2.8	12,385	12,315	6,006	6,309	95.2	△ 0.6
天 栄 村	225.52	1,666	1,678	3.2	5,430	5,328	2,669	2,659	100.4	△ 1.9
猪 苗 代 町	* 394.85	4,958	4,935	2.9	14,506	14,194	6,831	7,363	92.8	△ 2.2
石 川 町	115.71	5,197	5,189	2.9	15,240	14,989	7,401	7,588	97.5	△ 1.6
玉 川 村	46.67	2,017	2,028	3.2	6,691	6,579	3,289	3,290	100.0	△ 1.7
平 田 村	93.42	2,000	2,019	3.0	6,235	6,087	3,009	3,078	97.8	△ 2.4
浅 川 町	37.43	2,041	2,036	3.1	6,338	6,253	3,153	3,100	101.7	△ 1.3
古 殿 町	163.29	1,667	1,651	3.0	5,064	4,930	2,411	2,519	95.7	△ 2.6
三 春 町	72.76	6,321	6,334	2.8	17,981	17,754	8,890	8,864	100.3	△ 1.3
小 野 町	125.18	3,452	3,443	2.9	10,162	9,959	4,907	5,052	97.1	△ 2.0

注:(1)*は、境界の一部が未定のため、参考値を示した。

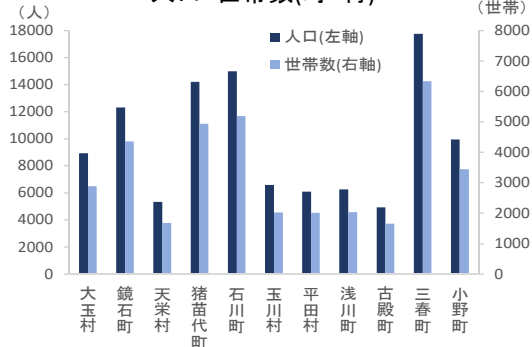
人口・世帯数



人口・世帯数(市)

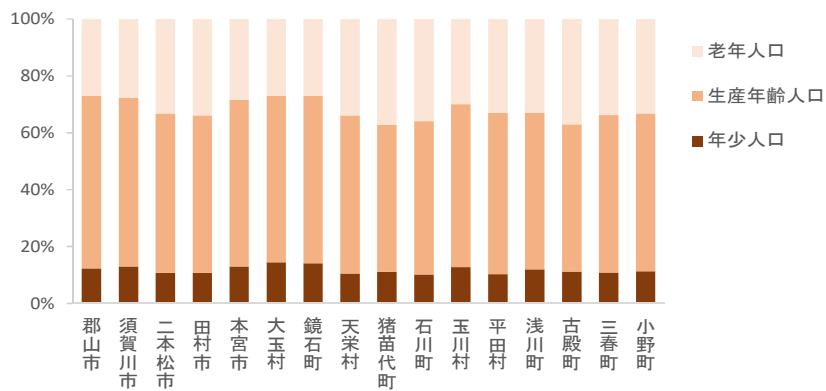


人口・世帯数(町・村)

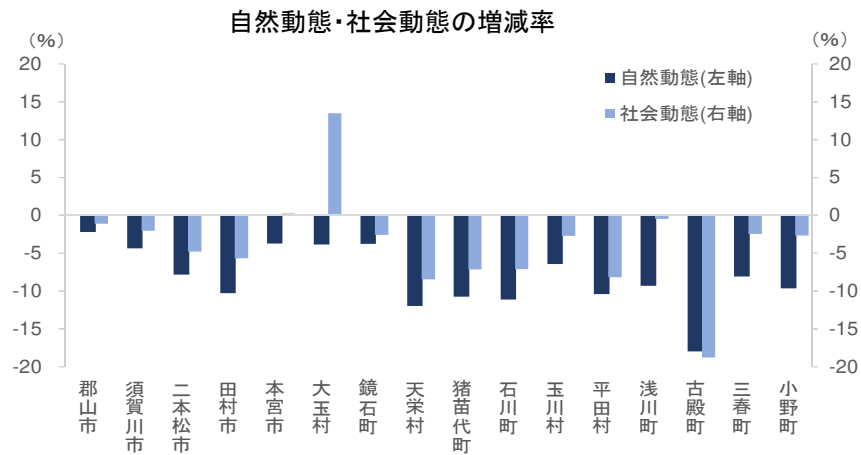


市 町 村 名	(5) 人口密度(1 km ² 当たり) 人	(6) 年少人口 (15歳未満) 人	(7) 生産年齢人口 (15-64歳) 人	(8) 老年人口 (65歳以上) 人	(9) 年少人口 割合 %	(10) 生産年齢 人口割合 %	(11) 老年人口 割合 %
調 査 期 日	平30.10.1	平30.10.1	平30.10.1	平30.10.1	平30.10.1	平30.10.1	平30.10.1
県 計	135.1	215,103	1,056,487	568,536	11.7	57.4	30.9
市 計	256.2	178,725	885,593	459,332	11.7	58.1	30.1
町 村 計	40.9	36,378	170,894	109,204	11.5	54.0	34.5
圏 域 計	193.1	76,625	371,447	183,694	12.0	58.1	28.7
郡 山 市	439.6	40,288	197,737	87,897	12.4	60.7	27.0
須 賀 川 市	272.4	9,870	44,831	20,982	13.0	59.2	27.7
二 本 松 市	163.0	6,023	31,429	18,591	10.7	56.1	33.2
田 村 市	80.1	3,901	20,187	12,344	10.7	55.4	33.9
本 宮 市	348.2	4,023	17,961	8,662	13.1	58.6	28.3
大 玉 村	112.3	1,287	5,193	2,389	14.5	58.6	26.9
鏡 石 町	393.5	1,739	7,255	3,321	14.1	58.9	27.0
天 栄 村	23.6	565	2,954	1,805	10.6	55.5	33.9
猪 苗 代 町	35.9	1,576	7,331	5,250	11.1	51.8	37.1
石 川 町	129.5	1,533	8,079	5,363	10.2	53.9	35.8
玉 川 村	141.0	840	3,761	1,963	12.8	57.3	29.9
平 田 村	65.2	629	3,453	2,004	10.3	56.7	32.9
浅 川 町	167.1	752	3,442	2,059	12.0	55.0	32.9
古 殿 町	30.2	554	2,555	1,821	11.2	51.8	36.9
三 春 町	244.0	1,922	9,769	5,952	10.9	55.4	33.7
小 野 町	79.6	1,123	5,510	3,291	11.3	55.5	33.2

年齢3区分別人口割合



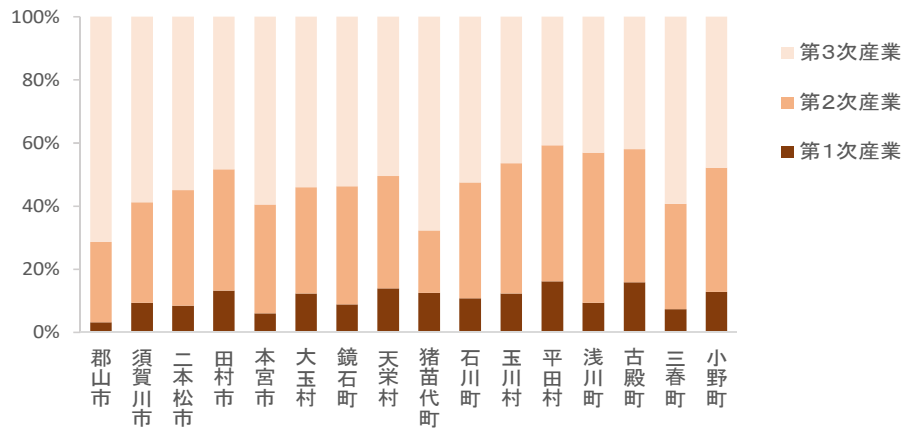
市 町 村 名	(12)人口動態								(13)	(14)平均寿命	
	自然動態			社会動態			婚姻	離婚	合計特殊 出生率 (ベイズ推 定値)	(男) 年	(女) 年
	出生数 人	死亡数 人	自然増減 率 ‰	転入 人	転出 人	社会増減 率 ‰					
調 査 期 日	平29(年間)			平29(年間)			平20～24年		平27	平27	
県 計	13,331	24,805	△ 6.1	57,039	64,447	△ 3.9	8,075	3,200	1.48	80.1	86.4
市 計	10,925	18,799	△ 5.1	46,098	50,988	△ 3.1	6,664	2,622			
町 村 計	2,406	6,006	△ 11.1	10,941	13,459	△ 7.8	1,411	578			
圏 域 計	4,575	7,569	△ 4.6	20,261	21,673	△ 2.2	2,815	1,077			
郡 山 市	2,625	3,371	△ 2.2	11,451	11,823	△ 1.1	1,632	623	1.43	80.9	86.7
須 賀 川 市	542	877	△ 4.4	2,254	2,408	△ 2.0	321	125	1.49	80.0	86.8
二 本 松 市	330	774	△ 7.8	1,419	1,691	△ 4.8	205	86	1.39	80.5	86.7
田 村 市	210	592	△ 10.3	849	1,061	△ 5.7	129	51	1.51	80.2	86.6
本 宮 市	209	323	△ 3.7	1,000	993	0.2	127	48	1.43	80.2	86.8
大 玉 村	68	102	△ 3.9	352	233	13.5	38	11	1.49	80.1	86.1
鏡 石 町	115	162	△ 3.8	450	482	△ 2.6	57	24	1.50	79.7	86.9
天 栄 村	33	98	△ 12.0	182	228	△ 8.5	17	10	1.49	80.4	86.5
猪 苗 代 町	83	239	△ 10.8	568	672	△ 7.2	44	17	1.60	79.9	87.0
石 川 町	67	237	△ 11.2	347	455	△ 7.1	60	20	1.46	80.2	86.5
玉 川 村	43	86	△ 6.4	184	202	△ 2.7	29	8	1.48	80.3	86.6
平 田 村	40	105	△ 10.4	176	227	△ 8.2	28	7	1.75	80.0	86.4
浅 川 町	31	90	△ 9.3	153	156	△ 0.5	27	7	1.61	80.1	86.6
古 殿 町	22	113	△ 18.0	84	179	△ 18.8	16	6	1.64	80.2	86.9
三 春 町	92	237	△ 8.1	488	532	△ 2.4	46	23	1.40	81.3	86.9
小 野 町	65	163	△ 9.6	304	331	△ 2.7	39	11	1.54	80.6	86.7



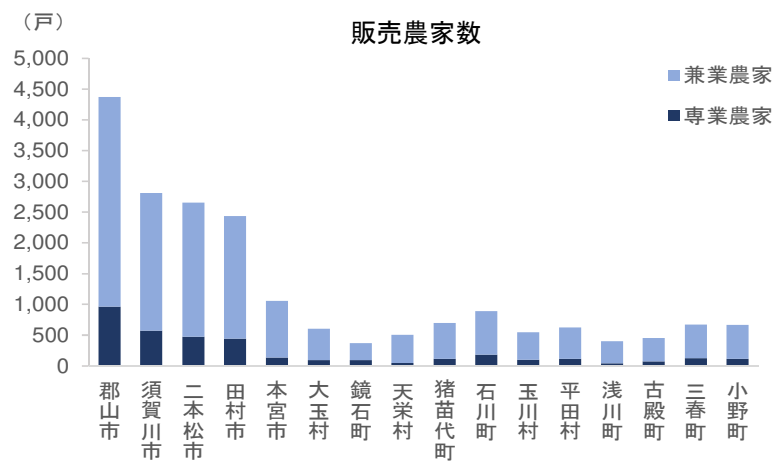
市 町 村 名	(15)就業者				(16)	(17)
	総数 人	第1次産業 人	第2次産業 人	第3次産業 人	事業所数 (民 営)	従業者数 (民 営) 人
調 査 期 日	平27.10.1				平28.6.1	平28.6.1
県 計	922,133	59,780	271,326	555,204	85,960	806,130
市 計	751,092	38,294	213,942	465,526	70,421	677,507
町 村 計	171,041	21,486	57,384	89,678	15,539	128,623
圏 域 計	316,586	20,372	91,831	188,612	29,514	284,541
郡 山 市	156,056	4,550	36,734	102,817	15,836	165,207
須 賀 川 市	38,610	3,472	11,813	21,717	3,203	29,709
二 本 松 市	29,531	2,462	10,573	15,848	2,450	22,168
田 村 市	20,022	2,616	7,659	9,603	1,655	13,079
本 宮 市	15,355	920	5,180	8,952	1,421	15,938
大 玉 村	4,585	566	1,537	2,469	235	2,239
鏡 石 町	6,218	552	2,321	3,318	509	4,999
天 栄 村	2,934	403	1,018	1,450	214	1,935
猪 苗 代 町	7,453	923	1,446	4,984	806	5,480
石 川 町	7,776	824	2,816	4,021	862	5,997
玉 川 村	3,762	424	1,416	1,592	314	2,749
平 田 村	3,508	548	1,464	1,381	260	2,116
浅 川 町	3,352	315	1,585	1,437	302	1,993
古 殿 町	2,780	440	1,164	1,158	273	1,778
三 春 町	9,141	658	2,981	5,284	660	5,569
小 野 町	5,503	699	2,124	2,581	514	3,585

注:(15)就業者総数には「不詳」を含む。

産業別就業人口割合

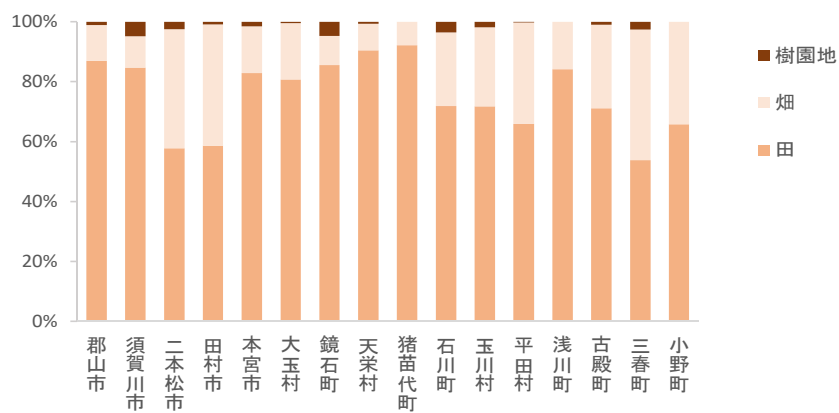


市 町 村 名	(18)農家						
	販売農家数 戸	専業農家 戸	兼業農家		15歳以上農業就業人口		
			第1種 (農業が主) 戸	第2種 (兼業が主) 戸	総数 人	男 人	女 人
調 査 期 日	平27.2.1						
県 計	52,270	12,078	6,279	33,913	77,703	38,429	39,274
市 計	33,455						
町 村 計	18,815						
圏 域 計	19,788	3,695	2,424	13,669	29,485	14,232	15,253
郡 山 市	4,372	964	615	2,793	6,454	3,230	3,224
須 賀 川 市	2,813	571	443	1,799	4,877	2,335	2,542
二 本 松 市	2,658	472	289	1,897	3,825	1,829	1,996
田 村 市	2,436	441	217	1,778	3,487	1,596	1,891
本 宮 市	1,059	136	81	842	1,483	707	776
大 玉 村	604	97	56	451	901	427	474
鏡 石 町	374	97	84	193	674	346	328
天 栄 村	506	48	91	367	569	298	271
猪 苗 代 町	701	114	151	436	1,161	615	546
石 川 町	892	180	66	646	1,323	642	681
玉 川 村	551	100	49	402	815	398	417
平 田 村	626	117	72	437	852	397	455
浅 川 町	402	45	43	314	581	279	302
古 殿 町	452	73	30	349	572	248	324
三 春 町	675	124	57	494	983	441	542
小 野 町	667	116	80	471	928	444	484



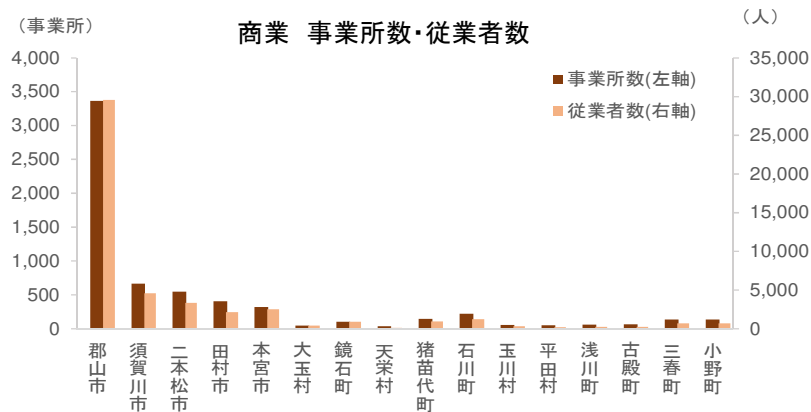
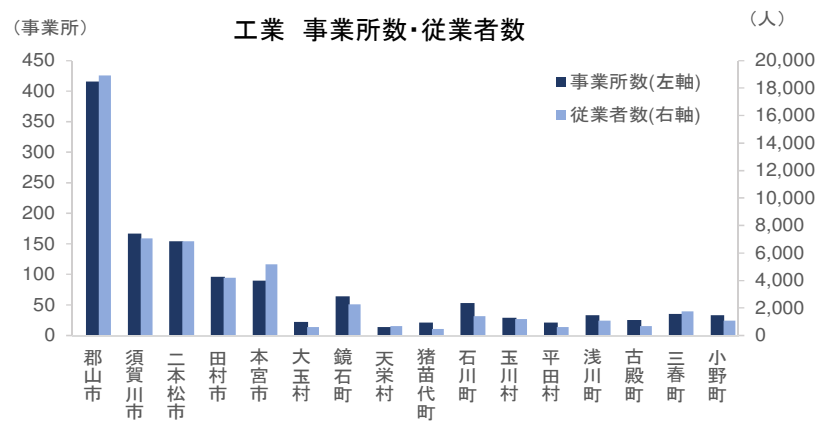
市 町 村 名	(19)販売農家経営耕地面積					(20)森林面積				
	総数 ha	田 ha	畑 ha	うち 牧草地 ha	樹園地 ha	総数 ha	国有 ha	民有		
								公有 ha	私有 ha	森林農地整備 センター ha
調 査 期 日	平27.2.1					平29年度				
県 計 市 計 町 計 村 計	94,364	73,351	16,083	2,485	4,929	974,223	408,474	96,494	457,325	11,931
圏 域 計	34,712	27,152	6,870	1,793	686	192,243	63,080	20,892	105,681	2,591
郡 山 市	8,763	7,623	1,041	118	98	39,942	9,978	7,003	20,758	2,203
須 賀 川 市	6,079	5,151	631	16	297	11,921	2,746	1,848	7,141	186
二 本 松 市	3,846	2,223	1,526	650	96	15,709	2,432	1,003	12,271	3
田 村 市	2,875	1,684	1,168	397	23	30,303	9,888	993	19,408	15
本 宮 市	1,664	1,378	261	81	24	2,707	－	131	2,575	－
大 玉 村	1,323	1,069	247	101	7	4,941	2,824	548	1,569	－
鏡 石 町	1,100	941	107	2	52	344	－	11	334	－
天 栄 村	1,062	961	93	2	8	19,221	14,446	493	4,282	－
猪 苗 代 町	2,610	2,406	201	42	2	27,221	11,558	7,818	7,673	172
石 川 町	1,168	840	288	52	41	5,897	－	325	5,572	0
玉 川 村	605	434	159	9	12	2,149	691	156	1,301	－
平 田 村	879	579	298	114	2	5,837	1,353	58	4,426	0
浅 川 町	671	564	106	13	1	1,575	－	6	1,570	－
古 殿 町	454	323	126	36	5	13,509	6,193	106	7,210	－
三 春 町	718	387	313	57	18	2,340	－	69	2,259	12
小 野 町	895	589	305	103	1	8,627	971	324	7,332	－

経営耕地面積割合



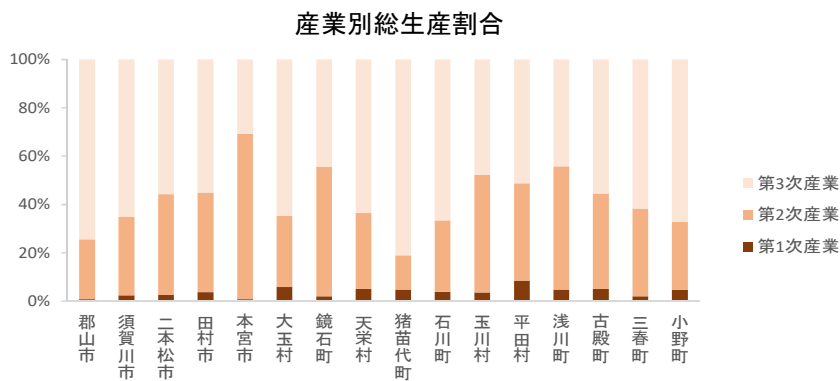
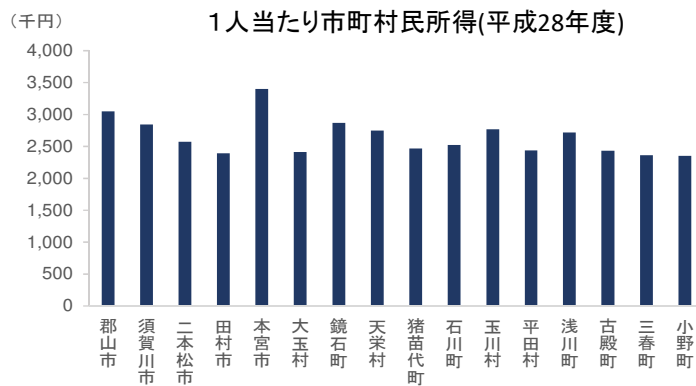
市 町 村 名	(21)工業			(22)商業				
	事業所数	従業者数 人	製造品出荷額 等 万円	事業所数			従業者数 人	年間商品販売額 百万円
				総数 事業所	卸売業 事業所	小売業 事業所		
調 査 期 日	平29.6.1		平28(年間)	平28.6.1			平27(年間)	
県 計	3,620	154,979	497,786,125	18,628	4,077	14,551	129,756	4,631,742
市 計	2,656	115,324	395,000,857	15,302	3,679	11,623	112,308	4,281,101
町 村 計	964	39,655	102,785,268	3,326	398	2,928	17,448	350,641
圏 域 計	1,273	53,988	163,758,058	6,364	1,626	4,738	48,194	1,919,424
郡 山 市	416	18,918	71,101,044	3,364	1,159	2,205	29,586	1,402,963
須 賀 川 市	167	7,058	16,735,213	668	147	521	4,591	131,949
二 本 松 市	154	6,851	16,451,786	550	80	470	3,357	94,567
田 村 市	96	4,203	8,692,776	408	46	362	2,154	50,306
本 宮 市	90	5,174	25,427,500	321	73	248	2,505	132,638
大 玉 村	22	601	1,001,259	46	5	41	418	11,333
鏡 石 町	64	2,268	5,734,838	104	21	83	886	17,617
天 栄 村	14	676	762,809	39	6	33	131	2,169
猪 苗 代 町	21	453	660,236	146	19	127	927	16,602
石 川 町	53	1,402	2,245,812	219	20	199	1,228	17,203
玉 川 村	29	1,188	5,294,753	57	10	47	321	5,693
平 田 村	21	602	1,328,262	50	1	49	220	3,474
浅 川 町	33	1,078	2,410,400	59	5	54	243	3,563
古 殿 町	25	678	1,249,974	64	5	59	236	2,586
三 春 町	35	1,750	3,368,037	134	19	115	687	15,375
小 野 町	33	1,088	1,293,359	135	10	125	704	11,386

注:(21)工業は、従業者4人以上の事業所。



市 町 村 名		(23)市町村民所得					
		1人当たり市町村民所得		市町村内 総生産 百万円	産業別総生産		
		平成27年度 千円	平成28年度 千円		第1次産業 百万円	第2次産業 百万円	第3次産業 百万円
調 査 期 日		平28年度		平28年度			
県 計	計	2,958	3,005	7,917,871	120,048	2,708,510	5,061,558
市 計	計						
町 計	計						
村 計	計						
圏 域 計							
郡 山 市		3,012	3,051	1,316,318	10,498	325,264	975,942
須 賀 川 市		2,796	2,842	275,043	6,570	89,159	178,351
二 本 松 市		2,513	2,576	178,556	4,697	74,094	99,139
田 村 市		2,402	2,394	108,116	4,004	44,372	59,361
本 宮 市		3,301	3,400	206,790	1,472	141,399	63,195
大 玉 村		2,345	2,412	21,147	1,224	6,220	13,628
鏡 石 町		2,765	2,871	50,500	960	27,078	22,284
天 栄 村		2,671	2,751	19,121	955	6,016	12,083
猪 苗 代 町		2,404	2,468	47,172	2,291	6,641	38,074
石 川 町		2,444	2,521	48,414	1,893	14,202	32,149
玉 川 村		2,751	2,769	29,251	1,067	14,186	13,895
平 田 村		2,331	2,437	20,399	1,724	8,196	10,409
浅 川 町		2,680	2,719	19,605	948	9,951	8,637
古 殿 町		2,445	2,433	16,309	823	6,421	9,008
三 春 町		2,392	2,363	52,475	1,009	18,991	32,291
小 野 町		2,362	2,352	25,097	1,155	7,077	16,777

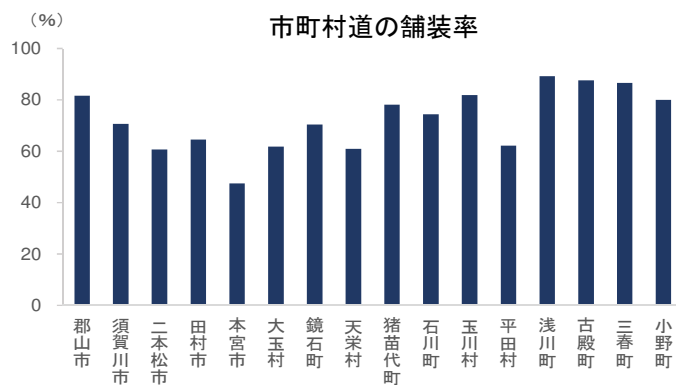
注：(23) 市町村内総生産の産業別内訳には、輸入品に課される税・関税等が含まれないため、第1次産業から第3次産業の小計は県内総生産と合致しない。



市 町 村 名	(24)普通会計の決算状況							
	歳入							歳出 総額
	歳入 総額	うち 地方税	うち 地方譲与税	うち 地方交付税	うち 国庫支出金	うち 県支出金	うち 地方債	
調 査 期 日	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平29年度								
県 計	1,236,195,924	262,591,020	9,529,108	244,544,818	178,529,916	198,403,294	77,432,561	1,166,076,066
市 計	822,742,157	208,411,955	6,703,552	136,700,372	101,489,025	145,986,656	56,414,681	781,840,821
町 村 計	413,453,767	54,179,065	2,825,556	107,844,446	77,040,891	52,416,638	21,017,880	384,235,245
圏 域 計	344,183,319	83,442,851	3,229,634	66,449,950	39,557,191	61,546,794	25,676,169	329,941,655
郡 山 市	141,926,828	47,630,482	1,128,052	12,006,220	18,281,384	24,265,918	10,115,600	137,710,465
須 賀 川 市	40,838,789	9,507,912	453,400	9,767,277	5,274,477	2,975,642	3,880,500	37,989,457
二 本 松 市	42,828,498	6,248,227	440,693	9,418,578	3,218,377	14,913,252	2,768,380	41,341,189
田 村 市	28,555,170	3,631,004	246,656	9,691,454	5,443,779	2,062,944	1,244,800	26,395,714
本 宮 市	24,676,142	4,164,263	179,670	3,181,887	1,485,684	11,717,954	932,900	23,859,236
大 玉 村	6,586,850	900,507	75,781	1,719,802	714,643	966,046	579,300	6,179,140
鏡 石 町	5,972,886	1,631,411	70,152	1,552,293	743,537	572,396	543,000	5,863,252
天 栄 村	5,201,099	759,127	83,304	1,973,803	365,242	836,838	179,958	4,888,438
猪 苗 代 町	8,148,473	1,900,116	82,103	3,171,669	419,637	494,342	780,339	7,868,746
石 川 町	7,827,155	1,663,286	96,472	2,434,365	946,112	500,307	854,418	7,599,095
玉 川 村	3,846,902	834,391	54,919	1,462,830	377,685	304,156	188,354	3,689,178
平 田 村	5,069,542	627,598	62,665	1,830,437	651,296	332,145	889,552	4,734,859
浅 川 町	3,929,095	692,850	36,558	1,322,177	285,769	219,510	502,419	3,672,037
古 殿 町	5,183,626	543,128	56,593	2,025,304	230,159	303,345	772,674	5,064,341
三 春 町	8,056,892	1,725,453	104,466	2,769,109	680,322	758,714	495,900	7,678,406
小 野 町	5,535,372	983,096	58,150	2,122,745	439,088	323,285	948,075	5,408,102

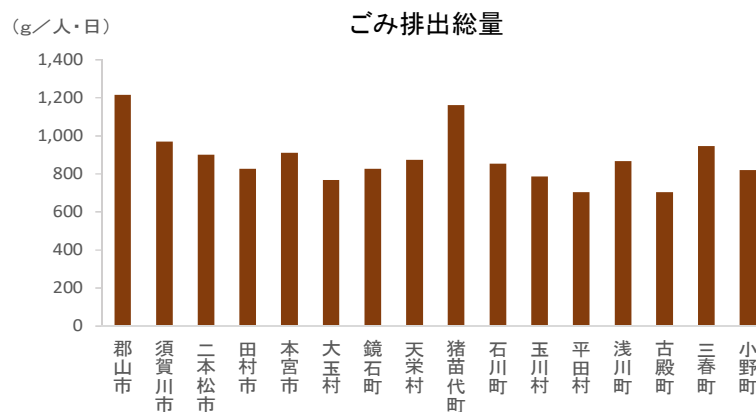
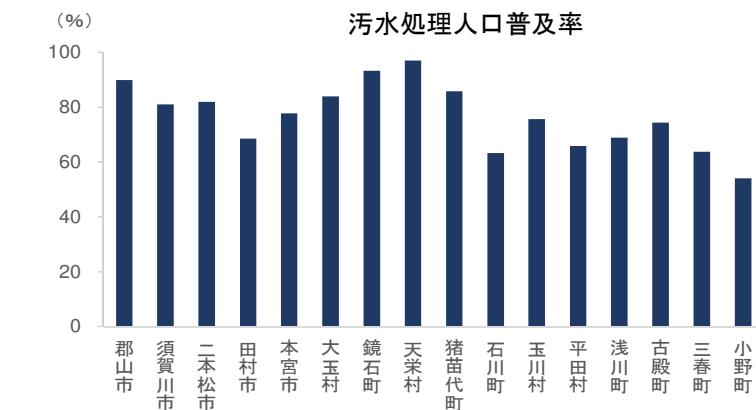
市 町 村 名	(25) 地方債 現在高 割合	(26) 財政力指数 平27+28+29 年度	(27)市町村道の現況			(28)自動車保有台数			
	%	3	実延長 m	うち 舗装済延長 m	舗装率 %	総数 台	うち 乗用車 台	うち トラック 台	うち 軽自動車 台
調 査 期 日	平29年度		平29.4.1			平31.3.31			
県 計	69.8	0.46	32,743,657	22,603,451	69.0	1,657,793	770,328	131,748	686,624
市 計	75.8	0.58	21,894,439	15,184,079	69.4	1,311,456	624,297	103,224	531,092
町 村 計	57.6	0.43	10,849,218	7,419,372	68.4	346,337	146,031	28,524	155,532
圏 域 計			11,696,512	8,245,135	70.5	569,259	267,101	49,128	229,623
郡 山 市	61.9	0.80	3,258,400	2,657,675	81.6	275,414	141,235	25,181	97,972
須 賀 川 市	98.7	0.58	1,464,324	1,035,798	70.7	68,752	31,903	5,549	28,539
二 本 松 市	78.9	0.43	2,031,325	1,231,030	60.6	53,301	21,452	4,292	25,469
田 村 市	90.7	0.32	1,112,046	718,452	64.6	36,791	14,661	2,643	18,034
本 宮 市	62.9	0.62	902,715	428,947	47.5	30,546	12,730	3,435	12,860
大 玉 村	75.3	0.37	333,565	206,286	61.8	9,244	3,816	916	4,025
鏡 石 町	92.1	0.56	241,679	170,189	70.4	11,042	5,140	909	4,509
天 栄 村	77.4	0.31	322,839	196,794	61.0	6,049	2,839	488	2,470
猪 苗 代 町	116.3	0.39	232,115	181,411	78.2	13,321	5,845	863	5,852
石 川 町	84.9	0.42	418,565	311,603	74.4	14,439	6,190	996	6,701
玉 川 村	92.6	0.35	194,642	159,486	81.9	6,776	2,905	575	3,068
平 田 村	154.5	0.27	278,996	173,469	62.2	6,764	2,635	619	3,190
浅 川 町	85.1	0.35	114,059	101,767	89.2	5,777	2,674	384	2,475
古 殿 町	105.7	0.23	215,316	188,623	87.6	5,384	2,158	480	2,566
三 春 町	92.9	0.42	341,614	296,025	86.7	16,050	6,830	1,095	7,495
小 野 町	93.8	0.34	234,312	187,580	80.1	9,609	4,088	703	4,398

注:(25)地方債現在高÷歳出決算総額

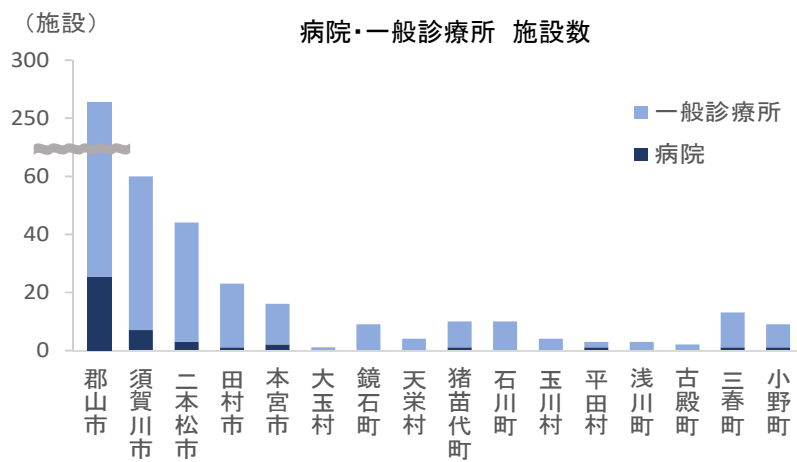


市 町 村 名	(29)消防				(30)交通事故				(31)	(32)		
	消防団員 人	火災件数 件	人口1万人 当たり 出火率 %	建物火災の 損害額 千円	発生件数 件	死者数 人	傷者数 人	汚水処理人口 普及率 %	ごみ排出総量 g/人・日			
調 査 期 日	平30.4.1	平29			平29			平31.3.31	平28年度			
県 計	33,149	597	3.1	959,328	(77)	5,511	(7)	61	(120)	6,590	82.8	1,039
市 計	19,711	444		633,769		4,786		47		5,671		
町 村 計	13,438	153		325,559		725		14		919		
圏 域 計	10,311	188	2.9	212,402	1,872	21	2,299					
郡 山 市	2,474	82	2.5	28,637	1,190	9	1,488	89.9		1,215		
須 賀 川 市	1,119	18	2.4	30,982	206	3	237	81.1		970		
二 本 松 市	1,445	21	3.7	43,049	98	1	115	82.0		900		
田 村 市	1,337	16	4.3	18,339	50	4	59	68.5		828		
本 宮 市	541	8	2.6	9,573	93	－	105	77.8		911		
大 玉 村	172	2	2.3	358	27	－	35	84.0		767		
鏡 石 町	153	3	2.4	36,438	34	1	35	93.3		826		
天 栄 村	199	3	5.6	8,820	14	－	19	97.1		875		
猪 苗 代 町	533	2	1.4	10,041	57	－	80	85.8		1,161		
石 川 町	492	8	5.3	9,051	29	1	35	63.3		854		
玉 川 村	286	4	6.0	1,596	19	－	24	75.6		787		
平 田 村	235	5	8.0	2,788	7	2	10	65.8		705		
浅 川 町	266	4	6.3	2,843	7	－	8	68.9		866		
古 殿 町	240	4	8.0	593	1	－	1	74.4		703		
三 春 町	453	6	3.4	9,244	29	－	35	63.8		946		
小 野 町	366	2	2.0	50	11	－	13	54.1		821		

注:(30)交通事故欄の()は、高速道における事故で外数(県合計のみ集計)。



市 町 村 名	(33)医療						(34) 介護保険料 65歳以上 基準額月額 円	(35)国民年金の状況		
	施設数			従業地別				第1号被保 険者数 人	老齡給 付受給 権者数 人	老齡給付年 金総額 千円
	病院数	一般診療所	歯科診療所	医師 人	歯科医師 人	薬剤師 人				
調 査 期 日	平29.10.1			平28.12.31			平30～令2年度 平30年度末現在			
県 計	128	1,355	860	3,888	1,377	3,582	6,061	186,051	...	...
市 計	110	1,147	735	3,575	1,213	3,257				
町 村 計	18	208	125	313	164	325				
圏 域 計	39	429	295	1,168	588	1,213				
郡 山 市	22	235	168	836	433	829	5,573	33,774	81,126	51,874,870
須 賀 川 市	7	53	35	121	47	119	6,100	7,649	20,498	13,420,543
二 本 松 市	3	41	22	77	27	71	6,200	4,814	17,753	11,896,916
田 村 市	1	22	15	25	17	33	6,000	3,604	12,319	7,944,816
本 宮 市	2	14	13	29	16	53	5,900	2,726	8,195	5,493,166
大 玉 村	－	1	2	－	1	－	5,500	709	2,310	1,554,705
鏡 石 町	－	9	3	8	5	14	5,900	1,247	3,378	2,221,949
天 栄 村	－	4	2	3	2	5	6,000	488	1,871	1,262,431
猪 苗 代 町	1	9	7	15	8	14	6,000	1,441	5,183	3,440,815
石 川 町	－	10	9	10	16	21	5,960	1,494	5,374	3,532,698
玉 川 村	－	4	2	2	1	9	5,400	601	1,996	1,314,330
平 田 村	1	2	3	8	2	7	5,300	593	1,853	1,114,091
浅 川 町	－	3	3	1	2	5	5,400	574	2,078	1,359,593
古 殿 町	－	2	2	－	3	4	6,400	504	1,902	1,268,523
三 春 町	1	12	6	18	5	20	5,762	1,569	5,537	3,641,433
小 野 町	1	8	3	15	3	9	6,600	989	3,295	2,068,307



市 町 村 名	(36)国民健康保険の状況		(37)保育所		(38)児童館	(39)幼稚園(公立・私立)			
	被保険者数	保険給付額	保育所数	定員	児童館数	園数	園児数	教員数 (本務者)	就園率
調 査 期 日	人	千円		人			人	人	%
平29年度末現在	平29.10.1		平29.10.1		平29.10.1	平30.5.1	平31.3卒園者		
							※速報		
県 計	442,379	138,544,502	343	30,124	66	264	19,888	1,832	50.0
市 計	333,206	103,109,514	271	23,596	46	209	16,446	1,502	49.8
町 村 計	102,956	34,533,550	72	6,528	20	55	3,442	330	51.0
圏 域 計	140,583	42,566,250	109	9,147	16	77	7,240	640	
郡 山 市	69,102	20,558,855	44	3,520	1	32	5,020	428	67.8
須 賀 川 市	17,312	5,370,095	19	1,408	4	7	343	36	21.3
二 本 松 市	12,462	3,801,161	11	790	2	13	421	55	53.1
田 村 市	9,209	2,837,728	6	600	2	9	207	21	40.9
本 宮 市	6,171	1,872,911	6	605	2	6	326	26	64.3
大 玉 村	1,770	614,847	1	150	-	2	259	14	94.8
鏡 石 町	2,965	899,900	3	327	2	2	264	25	80.4
天 栄 村	1,430	473,294	1	60	-	2	106	11	100.0
猪 苗 代 町	3,509	1,059,297	3	332	1	-	-	-	-
石 川 町	3,947	1,097,248	4	304	1	-	-	-	-
玉 川 村	1,649	485,523	1	140	-	-	-	-	-
平 田 村	1,649	632,818	2	160	-	-	-	-	-
浅 川 町	1,483	482,464	1	80	-	1	143	8	100.0
古 殿 町	1,327	363,928	1	160	-	-	-	-	-
三 春 町	4,049	1,198,412	3	286	-	2	114	13	28.1
小 野 町	2,549	817,769	3	225	1	1	37	3	20.9

注：(36)県計には国保組合分が含まれているため、「市計＋町村計」と一致しない。

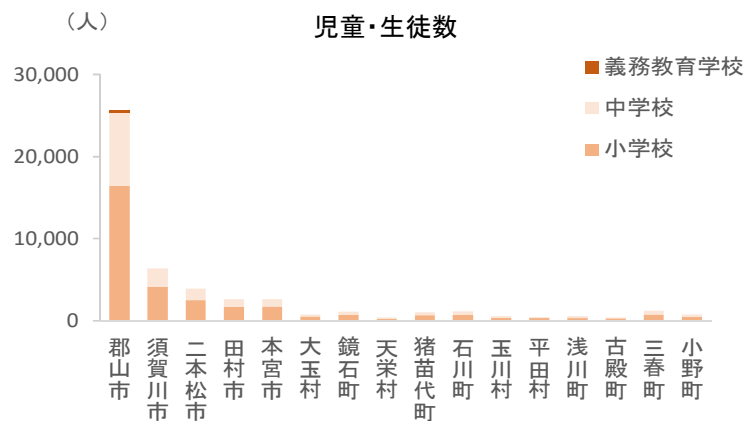
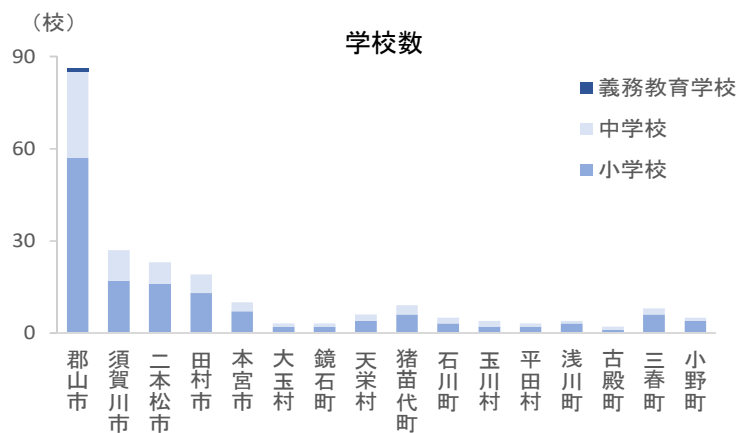
(37)保育所の定員は、調査していない施設を除く。

(39)幼稚園就園率＝幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

市 町 村 名	(40)小学校(公立・私立)			(41)中学校(公立・私立)				(42)義務教育学校(公立)			
	学校数	児童数 人	教員数 (本務者) 人	学校数	生徒数 人	教員数 (本務者) 人	高等学校等 進学率 %	学校数	児童 生徒数 人	教員数 (本務者) 人	高等学校等 進学率 %
調 査 期 日	平30.5.1			平30.5.1			平31.3卒業者 ※速報	平30.5.1	平31.3卒業者 ※速報		
県 計	448	90,011	6,866	230	49,650	4,368	98.5	1	280	30	97.1
市 計	321	74,580	5,291	163	41,270	3,403	98.5	1	280	30	97.1
町 村 計	127	15,431	1,575	67	8,380	965		-	-	-	
圏 域 計	145	31,820	2,306	71	17,463	1,436		1	280	30	
郡 山 市	57	16,439	1,034	28	8,944	663	96.9	1	280	30	97.1
須 賀 川 市	17	4,126	270	10	2,247	193	98.2	-	-	-	-
二 本 松 市	16	2,504	225	7	1,431	126	98.0	-	-	-	-
田 村 市	13	1,684	156	6	938	102	98.5	-	-	-	-
本 宮 市	7	1,694	122	3	935	74	99.4	-	-	-	-
大 玉 村	2	501	36	1	248	23	100.0	-	-	-	-
鏡 石 町	2	724	44	1	390	27	98.4	-	-	-	-
天 栄 村	4	250	37	2	155	24	96.2	-	-	-	-
猪 苗 代 町	6	645	81	3	352	41	100.0	-	-	-	-
石 川 町	3	709	50	2	447	28	99.4	-	-	-	-
玉 川 村	2	360	29	2	194	25	100.0	-	-	-	-
平 田 村	2	310	31	1	138	15	100.0	-	-	-	-
浅 川 町	3	334	33	1	200	17	98.7	-	-	-	-
古 殿 町	1	279	18	1	128	15	100.0	-	-	-	-
三 春 町	6	775	91	2	452	41	98.2	-	-	-	-
小 野 町	4	486	49	1	264	22	99.0	-	-	-	-

注:(41)(42)進学率＝高等学校等への進学者数÷中学校卒業者数×100

(42)は義務教育学校の所在地別の統計



市 町 村 名	(42)高等学校(公立・私立)			
	学校数	生徒数 人	教員数 (本務者) 人	大学等 進学率 %
調 査 期 日	平30.5.1		令元.5.1	平31.3卒業者
			※速報	※速報
県 計	111	50,924	4,049	45.8
市 計	83	44,779	3,398	48.6
町 村 計	28	6,145	651	
圏 域 計	30	17,526	1,253	
郡 山 市	14	10,414	676	57.1
須 賀 川 市	4	2,318	171	35.0
二 本 松 市	3	1,135	99	30.4
田 村 市	1	355	26	11.9
本 宮 市	1	442	39	11.0
大 玉 村	-	-	-	-
鏡 石 町	1	684	64	6.1
天 栄 村	-	-	-	-
猪 苗 代 町	1	129	24	26.3
石 川 町	2	1,077	73	50.4
玉 川 村	-	-	-	-
平 田 村	1	16	-	-
浅 川 町	-	-	-	-
古 殿 町	-	-	-	-
三 春 町	1	671	48	30.4
小 野 町	1	285	33	13.4

(42)は高等学校の所在地別の統計